

# 令和2年度 公益社団法人 京都鴨沂会 事業報告

## I 公益目的事業

(公1) 高等学校教育を振興するための奨学金及び高校独自の教育特別授業への助成金

高等学校教育の振興と学力向上に寄与し、社会の発展に寄与する人材を育成し、わが国の教育振興に貢献することを目的として、次の事業を行う。

### ア 奨学金（公募）

勉強意欲がありながら、経済的理由により修学が困難な公立高等学校生徒に対して奨学金を給付。

「京都鴨沂会奨学金」 月額 10,000円

・京都公立高校17校から43名の応募があり、有識者で構成される選考委員会により慎重に審議し、8校14名（3年生6名、2年生8名）を選出し、理事会の議を経てこれらの生徒への奨学金給付を決定し、給付を実施した。

### イ 教育研究の支援（公募）

高校独自の教育特別事業として、①授業内容の向上をめざす研究 ②教員の資質向上をめざす研究に対して必要資金の一部を助成する。1件20万円以内で、2件を限度とする。

「京都鴨沂会教育研究支援助成費」

・令和2年度教育研究支援助成費は、左記の2校に対し各5万円の給付を実施した。

京都市立銅駝美術工芸高等学校 「iPadを活用したキャリアポート（学びの記録）」とICT活用事例の共有化」  
京都府立鴨沂高等学校 「生徒の科学的リテラシーの自発的な育成を促す探究学習の開発」

(公2) 高齢者福祉及び国際相互理解の促進に資するため

の芸術・伝統文化講習会とボランティア活動

### ア 芸術・伝統文化講習会の開催

高齢者福祉、留学生支援など地域活性化に資するボランティア活動のきっかけ作りと担い手の育成のための講習会を開催する。

「京都鴨沂会文化教室」

・令和2年度文化教室は、緊急事態宣言発出中は休講とし、解除後は各講師の判断にまかせ、身体的な接触が多い書道、茶道はコロナ感染が収まるまで休講、三密が避けられる分野では開講した。

茶道教室	講師	吉田 宗翠	(月1回)	休会
華道教室	講師	中谷 豊甫	(月2回)	休会

謡曲教室 講師 岡田 美保子 (月2回)

書道教室 講師 嶋 映子 (月1回)

紹ざし教室 講師 北村 悠紀子 (月2回)

ハワイアンフラ教室

講師 ユミコ レイモミ (月2回)

#### イ 地域活性化に資する自主的グループ活動の支援

学習効果を地域に還元する実践プログラムを自主的に創りあげる活動の、側面的なサポートを本会が行う。

・令和2年度は、地域活性化グループ活動の自粛により、助成費への応募がなかった。

#### ウ 高齢者福祉ボランティア活動の推進

ボランティア活動の情報提供と実践のための福祉教育および福祉ボランティア活動のコーディネートを行う。

#### 「京都鴨沂会ボランティア活動助成費」

・令和2年度は、ボランティア活動を要請する施設の方で外部の人の受け入れを制限する状態が続き、例年40件に及ぶ福祉施設、医療機関などへのボランティア要員の派遣と助成事業を実施することができなかった。

#### エ 留学生の伝統文化学習と生活適応のための支援活動

文化教室で培った伝統文化の知識と手技をコミュニケーションツールとして外国人留学生に対する日本伝統文化の育成に寄与し、生活適応上の指導助言など留学生支援により国際理解を深め地域社会の活性化に貢献する。

#### 「高校留学生のための日本伝統文化体験学習会」

#### 「留学生のための日本伝統文化体験学習会」

#### 「外国人のための日本伝統文化教室」

・令和2年度は、外国人留学生の出入国が制限されているため該当者がなく開催できなかった。

#### (公3) 生涯学習を支援するための公開講演

地域の文化振興に資するとともに、福祉教育を普及し地域包括高齢者福祉に貢献する。

#### 「教養講座」

・令和2年度の第52回教養講座、第53回教養講座は、感染症対策として集会を自粛し、開催できなかった。

#### (公4) 文化芸術及び生涯学習支援等の情報提供

公益法人としての事業活動の一般への開示の目的に加え、伝統文化、芸術、環境、福祉に関する論文を有識者による編集委員会により編集し、文化芸術及び生涯学習支援のための情報提供と共に教育史、女性史の資料として文化振興に貢献する。

#### ア 鴨沂会誌157号刊行

令和2年度刊行の鴨沂会誌157号には、教養講座の論文、高校奨学生の作文、伝統文化学習、ボランティア活動等本年度の公益目的事業の結果を掲載した。

#### イ 会誌および史料の保存管理

明治20年以來の150冊を超える鴨沂会誌全巻とともに編集資料の保存管理を行なっている。

#### II 会報の刊行その他会員向け事業

#### ア 鴨沂会報第16号の発行

法人活動及び会員の近況を会員へ報告する目的で会報を編集し、全会員に配布する。

令和2年度は、リモートワークにより会報編集業務が行われ、ほぼ例年通り刊行した。

#### イ 会員総会の開催

法人活動の報告のために第130回京都鴨沂会年会において会員総会を開催する予定であったが、令和2年度は、感染症防止のため開催を自粛した。

感染症防止対策を講じて鴨沂会館の利用を再開した。令和3年1月に新型コロナウイルス感染症が再び拡大し、1月14日から2月28日まで緊急事態宣言の発出に至ったが、会館の十分な感染症対策を実施し、利用者にも感染症防止対応を求めて業務を継続した。

### Ⅲ 収益事業

#### ホール、会議室及び駐車場の賃貸

鴨沂会館のホール及び会議室等は、オーケストラ、室内楽、コーラス、舞踏などの常設練習場、講演会、会議、伝統芸能の教室など文化施設として利用されている。また、利用者の便宜と安全のため駐車場を整備し一般の利用に供した。

#### 「新型コロナウイルス感染症対策に伴う鴨沂会館の貸室閉鎖」

令和2年2月から新型コロナウイルス感染症防止対策として、施設の使用には「三密」を避け、手指消毒、体温チェックなどの感染防止対策を始めたが、京都府への感染拡大に伴い高齢者の参加が多数を占める施設使用の自粛には限界を感じ、3月1日には鴨沂会館を休館とし、あらゆる集会の開催を中止した。3月25日～31日は一時再開したが、4月1日から再度休館とした。4月16日～5月31日には緊急事態宣言が発出され不要不急の外出自粛及び出勤者数の7割削減が要請された。

6月8日より事業再開を目指して鴨沂会館の特別清掃と感

# 令和2年度 公益社団法人 京都鴨沂会 会務報告

## 令和2年度理事会及び社員総会議事録概要

### 第1回理事会 令和2年4月25日(土) 書面会議

新型コロナウイルスの感染の状況により4月16日に発出された緊急事態宣言が5月6日以降継続される場合は鴨沂会館休館を継続する。

### 令和元年度監査委員会 令和2年5月10日(日)

鴨沂会館において監事及び公認会計士によって令和元年度事業・会務報告及び収支決算報告の監査が行われた。

### 第2回理事会 令和2年5月10日(日)

1 令和元年度事業・会務報告書の承認

2 令和元年度収支決算報告の承認

3 令和2・3年度代議員選挙の延期

新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言中のため、代議員選挙は延期

4 令和2年度臨時社員総会の開催の延期

緊急事態宣言中のため、新年度代議員の承認と役員選挙を実施する臨時社員総会を延期する。その

間、現在の代議員、理事、監事は会務を継続して担当することとした。

5 新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言中の収益事業の休止の確認

京都府の方針に従うこととし、5月末まで休止することとした。

6 テレワーク環境整備、パソコン、Wi-Fiルーターの購入の承認

法人業務専用Eメール..鴨沂会事務jim@ohki-kai.orgの設定を承認

7 持続化給付金について

持続化給付金(法人は最大200万円)

京都府中小企業者等支援補助金(20万円)

令和元年度定時社員総会 令和2年5月28日(木)

第1号議案 令和元年度事業報告

令和元年度事業報告書に基づき、公益目的事業、収益事業、会員への相互扶助事業の令和元年度業務及び会

書面会議

務について書面にて審議された。

第1号議案は書面表決の結果、全員賛成により承認された。

### 第2号議案 令和元年度収支決算報告

令和元年度公益社団法人京都鴨沂会収支決算報告書に基づき、貸借対照表及び正味財産計算書が文書にて審査され、公益事業費比率、内部留保金ともに基準を満たしていることが確認された。

第2号議案は書面表決の結果、全員賛成により承認された。

### 報告1 令和2年度事業計画は書面にて報告

### 報告2 令和2年度収支予算は書面にて報告

議事録署名人…家森 幸男 村山 敦

矢島 芳枝

議事録作成者…佐々木 佳継

### 第3回理事会 令和2年5月28日(木)

#### 1 令和2年度代議員選挙の件

7月末に代議員選挙を告示、8月末に投票

#### 2 令和2年度臨時社員総会の件

日程…令和2年9月10日(木)

開催方法…書面会議

#### 3 収益事業の再開の件

京都府の感染拡大予防ガイドラインに従うことを基本とし、会館利用には感染予防の留意事項の遵

守を条件とする。

4 新型コロナウイルス感染症に関する各種支援の申請  
文化庁令和2年度文化芸術振興費補助金(文化施設の感染症防止対策事業)を申請

感染症予防事業および業務再開に伴う環境整備事業

#### 5 奨学金募集期間の延長

6月1日まで高校の休校措置の継続に伴い、奨学金募集期間を6月30日までに延長

### 第4回理事会 令和2年7月4日(土)

1 文化庁補助金「鴨沂会館の感染症防止対策事業」  
1、435、437円の1/2、716、000円の交付決定

#### 2 合唱団・吹奏楽団の貸室使用の条件

「感染症影響下での合唱練習再開ガイドライン」遵守を要請

#### 3 教育支援助成費は2件採択、各5万円の支給を決定

4 コロナ対策として、換気用の網戸の設置を田中工務店に発注

5 Wi-Fiルーターの設置が完了し、全館でWi-Fi使用が可能となる。

6 文化教室再開の対応は、各講師の判断にゆだねる。

### 第5回理事会 令和2年9月12日(土)

1 令和2・3年度代議員選挙の件 選挙管理委員会

代議員選挙告示7月20日、投票8月20日、開票8月23日

2 鴨沂会館の特別清掃、赤外線カメラの設置等の感染防止事業の終了報告

3 持続化給付金200万円、京都府支給金20万円の交付が決定する。

4 「建築基準法に基づく定期報告制度」に基づき建築物や建築設備等の定期点検を行い京都市へ報告する。

5 令和2年9月10日に予定していた令和2年度臨時社員総会を11月に延期することとした。

#### 第6回理事会 令和2年9月27日(日)書面会議

1 令和2・3年度代議員31名の承認

石田眞佐子	市川 珠子	猪熊 兼勝
川井 秀一	川久保尚子	岸本 康
北丸 幸子	木村 正	佐々木佳継
竹崎 陽子	谷口 良信	辻 英夫
津田ゆかり	土江田曜子	戸川 隆博
中塚 明	西尾 齊	野崎 治子
福田 彩乃	福田 健	藤田 宗
二井 徹	松下 勇	村山 敦
森 實	八木千賀子	矢島 芳枝
安井 洌	安田 行秀	家森 幸男
吉川 能信		

#### 第7回理事会 令和2年11月8日(日)

1 令和2年度臨時社員総会の日程・会議様式と議案の決定

令和2年度臨時社員総会は書面会議とし、令和2年11月17日に開催する。

2 令和2・3年度理事10名・監事3名の選出  
議案 令和2・3年度理事10名・監事3名の選出

令和2年度京都鴨沂会奨学生の承認  
京都公立高校17校43名の応募者から選出された8校14名(3年生6名、2年生8名)を奨学生として採用することが承認された。

#### 令和2年度臨時社員総会 令和2年11月17日(火)

書面会議  
議案 令和2・3年度公益社団法人京都鴨沂会理事10名、監事3名の選出

郵便投票 役員選挙告示9月25日、開票10月18日、選任  
11月17日

理事10名	川井 秀一	岸本 康	佐々木佳継
	西尾 齊	野崎 治子	二井 徹
	村山 敦	矢島 芳枝	安井 洌
	家森 幸男		

監事3名…木村 正 竹崎 陽子 八木千賀子  
第8回理事会 令和2年11月17日(火)書面会議

1 令和2・3年度京都鴨沂会理事会代表理事の選任  
代表理事(会長)家森 幸男

代表理事（副会長） 村山 敦

代表理事（副会長） 矢島 芳枝

2 令和2年度役員・職員の業務分担の決定

第9回理事会 令和2年1月13日（水）書面会議

緊急事態宣言発出中は、本会主催の集会は自粛、収益事業は20時までとし、可能な範囲で職員の在宅勤務及び時差勤務を認める。

第10回理事会 令和3年3月7日（日）

1 令和2年度定時社員総会の日程と開催場所の件

令和3年5月22日（土）午後2時から鴨沂会館で開催する。

第131回京都鴨沂会年会の記念講演、会員総会及び懇親会の開催は自粛する。

2 令和3年度事業計画と予算の検討

・公益目的事業

公1…令和3年度奨学生募集・研究助成の募集保

留・大学進学助成の検討

公2…文化教室編成・ボランティア活動の開催時

期及び開催方法の検討

公3…教養講座 対面講座とZoom講座の開催を検討

公4…会誌158号 6月刊行

・会員向け事業

会報17号 4月刊行

・収益事業

使用料金の改定案の決定

鴨沂会員の新館1階使用規定は廃止

3 令和2年度収支の報告

コロナ禍で貸室事業収入は大幅減となったが、補助金など雑収入増で累計では、予算減は小幅となった。

・文化庁令和2年度文化施設の感染症防止対策事業補助金の実績報告

補助対象経費1,407,964円の1/2（693,000円）による実績報告書を文化庁へ

提出

・文化庁令和2年度文化芸術活動の継続支援事業補助金の実施報告

申請額200万円の3/4、150万円の交付、令和2年度75万円、令和3年度75万円

経費の内訳（貸室料金システム、貸室モニター設備など）

4 令和3年度職員の雇用契約とアルバイト雇用の件

現職員の雇用を継続し、雇用条件の改訂と職員の負担軽減、ICT対応職員の採用を検討する。

第11回理事会 令和3年3月29日（月）書面会議

1 令和3年度公益社団法人京都鴨沂会事業計画の承認

2 令和3年度公益社団法人京都鴨沂会予算の承認

# 令和2年度 公益社団法人 京都鴨沂会 収支決算報告

## 貸借対照表内訳表

(令和3年3月31日現在)

科 目	公益会計	収益会計	法人会計	内部取引	合計
<b>I 資産の部</b>					
流動資産					
現金	7,357	102,730			110,087
郵便貯金	367,355	1,195,395			1,562,750
流動資産合計	374,712	1,298,125			1,672,837
固定資産					
(1)基本財産					0
基本財産	27,385,495	24,798,455			52,183,950
基本財産合計	27,385,495	24,798,455			52,183,950
(2)特定資産					
建物維持引当資産	31,964,828	39,068,122	0		71,032,950
特定資産合計	31,964,828	39,068,122	0		71,032,950
(3)その他固定資産					0
建物	12,077,724	10,735,755	4,025,908		26,839,387
建物附属設備	150,674	133,932	50,224		334,830
什器備品	789,689	701,945	263,229		1,754,863
電話加入権	72,800				72,800
その他固定資産合計	13,090,887	11,571,632	4,339,361		29,001,880
固定資産合計	72,441,210	75,438,209	4,339,361		152,218,780
資産合計	72,815,922	76,736,334	4,339,361		153,891,617
<b>II 負債の部</b>					
流動負債					
未払金	7,000	176,800			183,800
預り金	61,821	0			61,821
未払法人税等		492,200			492,200
流動負債合計	68,821	669,000			737,821
負債合計	68,821	669,000			737,821
<b>III 正味財産の部</b>					0
一般正味財産	72,747,101	76,067,334	4,339,361		153,153,796
正味財産合計	72,747,101	76,067,334	4,339,361		153,153,796
負債及び正味財産合計	72,815,922	76,736,334	4,339,361		153,891,617

## 正味財産増減計算書内訳表

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

科 目	公益会計	収益会計	法人会計	内部取引	合計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>					
<b>1 経常増減の部</b>					
(1)経常利益					
①基本財産運用益	3,208	0	0		3,208
基本財産受取利息	3,208				3,208
②受取会費	547,500	0	0		547,500
正会員受取会費	547,500		0		547,500
③特定財産運用益	0	0	113,269		113,269
特定財産受取利息	0		113,269		113,269
④事業収益	182,500	9,366,727			9,549,227
講習会収入	157,500	67,500			225,000
貸室事業収入		9,299,227			9,299,227
会誌事業収益	25,000				25,000
⑤受取補助金等	1,443,000	2,200,000			3,643,000
受取国庫助成金	1,443,000	2,000,000			3,443,000
受取地方公共団体助成金		200,000			200,000
⑥雑収益	0	1,417,841	0		1,417,841
受取利息	0	0	0		0
雑収入		1,417,841			1,417,841
⑦寄付金収益	656,000				656,000
受取寄付金	656,000				656,000
<b>経 常 収 益 計</b>	<b>2,832,208</b>	<b>12,984,568</b>	<b>113,269</b>	<b>0</b>	<b>15,930,045</b>
(2)経常費用					
①事業費					
事業経費	9,990,441	9,856,093			19,846,534
給料手当	2,232,791	1,786,232			4,019,023
福利厚生費	11,112	43,895			55,007
旅費交通費	95,264	95,264			190,528
通信運搬費	90,106	355,919			446,025
消耗什器備品費	66,174	261,389			327,563
消耗品費	389,300	1,537,737			1,927,037
修繕費	66,401	322,241			388,642
会誌発行費	808,269	0			808,269
光熱水料費	438,878	1,178,469			1,617,347
保険料	58,451	51,956			110,407
租税公課	914,243	1,478,923			2,393,166
雑費	32,177	32,177			64,354
広告費	0	0			0
減価償却費	1,972,612	1,753,433			3,726,045
業務委託費	830,663	958,458			1,789,121
文化事業費	254,000	0			254,000
教育援助費	1,730,000				1,730,000
<b>事 業 費 計</b>	<b>9,990,441</b>	<b>9,856,093</b>			<b>19,846,534</b>

科 目	公益会計	収益会計	法人会計	内部取引	合計
②管理費					0
給 与 手 当			40,596		40,596
福 利 厚 生 費			556		556
会 議 費					0
光 熱 水 料 費			8,127		8,127
旅 費 交 通 費			47,632		47,632
通 信 運 搬 費			4,505		4,505
租 税 公 課			295,785		295,785
減 価 償 却 費			657,537		657,537
消 耗 什 器 備 品 費			3,309		3,309
消 耗 品 費			19,465		19,465
修 繕 費			1,953		1,953
業 務 委 託 費			7,987		7,987
事 務 委 託 費			1,056,000		1,056,000
保 險 料			19,484		19,484
総 会 費			0		0
慶 弔 費			20,000		20,000
支 払 利 息			0		0
管 理 費 計	0	0	2,182,936	0	2,182,936
経常費用計	9,990,441	9,856,093	2,182,936	0	22,029,470
評損調整前当期経常増減額	△7,158,233	3,128,475	△2,069,667		- 6,099,425
評価損益等計					0
当期経常増減額	△7,158,233	3,128,475	△2,069,667		- 6,099,425
2 経常外増減の部					0
(1)経常外利益					0
経常外収益計	0	0			0
(2)経常外費用					0
経常外費用計	0	0			0
当期経常外増減額					0
他会計振替額	3,000,000	△3,000,000			0
税引前一般正味財産増減額	△4,158,233	128,475	△2,069,667		- 6,099,425
法人税等		492,200			492,200
当期一般正味財産増減額	△4,158,233	△363,725	△2,069,667		- 6,591,625
一般正味財産期首残高	70,379,182	86,952,038	2,414,201		159,745,421
一般正味財産期末残高	66,220,949	86,588,313	344,534		153,153,796
Ⅱ 正味財産期末残高	66,220,949	86,588,313	344,534		153,153,796

## 財務諸表に対する注記

### 重要な会計処理方針

- (1) 固定資産の減価償却方法は定額法による。
- (2) 消費税の会計処理は税込み処理による。

### 附属明細書

基本財産及び特定財産の増減額及びその残高は、次の通りである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土 地	45,088,100	0	0	45,088,100
定期預金	7,095,850	0	0	7,095,850
		0	0	
小 計	52,183,950	0	0	52,183,950
特定財産				
預 金	72,032,950	0	1,000,000	71,032,950
小 計	72,032,950	0	1,000,000	71,032,950
合 計	124,216,900	0	1,000,000	123,216,900

固定資産の取得価額、減価償却累計及び期末残高は、次の通りである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	202,651,536	175,812,149	26,839,387
建物附属設備	43,820,764	43,485,934	334,830
器具及び備品	24,650,180	22,895,317	1,754,863
合 計	271,122,480	242,193,400	28,929,080

# 財 産 目 録

(令和3年3月31日現在)

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額		
<b>(流動資産)</b>						
	現金	手元保管	運転資金として	110,087		
	預金					
	通常貯金	ゆうちょ銀行	運転資金として	85,583		
		ゆうちょ銀行		1,195,395		
		ゆうちょ銀行		200,476		
	振替貯金	ゆうちょ銀行(会費)		72,926		
		ゆうちょ銀行(寄付金)		8,370		
<b>流動資産合計</b>				<b>1,672,837</b>		
<b>(固定資産)</b>						
<b>基本財産</b>						
	土地	上京区荒神町・宮垣町		45,088,100		
	普通預金	三井住友信託銀行京都支店	河原基金	1,520,000		
	定期預金	ダイワネクスト銀行	谷口基金	500,000		
		ダイワネクスト銀行		4,650,000		
		ダイワネクスト銀行		420,000		
	普通預金	三井住友信託銀行京都支店		2,157		
	定期預金	みずほ銀行京都中央支店	恩賜金	3,693		
	計			52,183,950		
	定期預金	三井住友信託銀行京都支店	建物維持引当資産・退職給付引当資産	22,000,000		
		みずほ銀行京都支店		10,154,601		
	定額貯金	ダイワネクスト銀行		4,544,765		
		京都中央信用金庫修学院支店		5,070,715		
		ゆうちょ銀行		1,000,000		
		ゆうちょ銀行		913,000		
		金銭信託	みずほ信託銀行京都支店		5,766,421	
		債券	大和証券京都支店		20,367,300	
		通常貯金	ゆうちょ銀行		826,000	
		普通預金	三井住友信託銀行京都支店		267,323	
			みずほ信託銀行京都支店		10,948	
			みずほ銀行京都中央支店		463	
	計	京都銀行出町支店		3,806		
		ダイワネクスト銀行		107,608		
				71,032,950		
		建物	564.473㎡ 京都市上京区	公益事業、収益事業共用	26,839,387	
		建物付属設備		公益事業、収益事業共用	334,830	
		什器備品		公益事業、収益事業共用	1,754,863	
		電話加入権			72,800	
		<b>固定資産合計</b>				<b>152,218,780</b>
		<b>資産合計</b>				<b>153,891,617</b>
		<b>(流動負債)</b>				
	未払金 預り金 未払法人税等	消費税	給与・消費税未払い分	183,800		
		源泉所得税	従業員等の源泉所得税預り分	61,821		
				492,200		
<b>流動負債合計</b>				<b>737,821</b>		
<b>(固定負債)</b>						
<b>固定負債合計</b>				<b>0</b>		
<b>負債合計</b>				<b>737,821</b>		
<b>正味財産</b>				<b>153,153,796</b>		
<b>負債および正味財産合計</b>				<b>153,891,617</b>		

## 令和2年度 業務及び会計監査報告書

公益社団法人京都鴨沂会

会長 家森 幸男 殿

令和2年度業務を理事会議事録及び関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて検討しました。その結果、令和2年度業務が報告書に正しく示されていると認めます。

令和2年度会計帳簿及び関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて、計算書類の正確性を検討、その結果、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録等が会計帳簿の記載と一致し、法人の収支状況及び財産状況を正しく示しているものと認めます。

令和3年4月21日

公益社団法人京都鴨沂会

監事 八木千賀子 

監事 木村正 

監事 竹崎陽子 

## 令和2年度会計監査報告書

公益社団法人京都鴨沂会

会長 家森 幸男 殿

令和2年度会計帳簿及び関係書類の閲覧等必要と思われる監査手続きを用いて、計算書類の正確性を検討しました。その結果、貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録等が会計帳簿の記載と一致し、法人の収支状況及び財産状況を正しく示しているものと認めます。

令和3年4月17日

公認会計士 山田陽子事務所

公認会計士 山田陽子



# 令和3年度 公益社団法人 京都鴨沂会 事業計画

公益社団法人京都鴨沂会は、地域社会の健全な発展を図り、公共の利益に寄与することを目的とし、教育・文化・芸術の振興、社会福祉の向上に資する公益目的事業を行なっている。令和3年度は、法人業務、公益目的事業、収益事業へのICT導入による新しい業務環境を整備し、新型コロナウイルス感染症防止対策に万全を期し、公益社団法人の事業計画を実施することを基本方針とする。

## I 公益目的事業

### (公1) 高等学校教育を振興するための奨学金及び高校独自の教育特別授業への助成金

#### 自の教育特別授業への助成金

高等学校教育の振興と学力向上に寄与し、社会の発展に寄与する人材を育成し、わが国の教育振興に貢献することを目的として、次の事業を行う。

#### ア 奨学金（公募）

勉学意欲がありながら、経済的理由により修学が困難な公立高等学校生徒に対して奨学金を給付する。

「京都鴨沂会奨学金」 月額10,000円

「京都鴨沂会大学進学支援金」 30,000円

#### イ 教育研究の支援（公募）

##### 「京都鴨沂会教育研究支援助成金」

高校独自の教育特別事業として、①授業内容の向上をめざす研究、②教員の資質向上をめざす研究に対して必要資金の一部を助成する。1件20万円以内で、2件を限度とする。

### (公2) 高齢者福祉及び国際相互理解の促進に資するための

#### の芸術・伝統文化講習会とボランティア活動

地域活性化に資するボランティア活動の支援を目的とする。ボランティア活動のきっかけ作りとリーダーの育成のために伝統文化や音楽の講習会を開催し、習得した知識と手技を活かして活動する地域活性化ボランティア、高齢者福祉および外国人留学生支援ボランティアを支援し地域社会の健全な発展に貢献する。

#### ア 芸術・伝統文化講習会の開催

高齢者福祉、留学生支援など地域活性化に資するボランティア活動のきっかけ作りと担い手の育成のための講習会を開催する。

「京都鴨沂会文化教室」

茶道教室 華道教室 書道教室 香道教室 紹ざし教室

ハワイアンフラ教室

## イ 地域活性化に資する自主的グループ活動の支援

学習効果を地域に還元する実践プログラムを自主的に創りあげる活動の側面的なサポートを本会が行う。

地域活性化に資する自主グループ活動に協賛金としてあるいはボランティア活動助成金として必要経費の一部を支援する。

## ウ 高齢者福祉ボランティア活動の推進

ボランティア活動の情報提供と実践のための福祉教育および福祉ボランティア活動のコーディネートを行い、ボランティア活動助成金として必要経費の一部を支援する。

「京都鴨沂会ボランティア活動助成金」

## エ 留学生の伝統文化学習と生活適応のための支援活動

文化教室で培った伝統文化の知識と手技をコミュニケーションツールとして外国人留学生に対する日本伝統文化の教育に寄与し、生活適応上の指導助言など留学生支援により国際理解を深め地域社会の活性化に貢献する。

「高校留学生のための日本伝統文化体験学習会」

「外国人のための日本伝統文化教室」

・新型コロナウイルス感染症拡大時には、接触を回避できない教科は休講し、身体的距離を取ることができる教科は、感染症対策を行い開講する。高齢者福祉ボランティア活動の推進および留学生の体験学習会は、高齢者施設の集合制限および留学生の移動制限を伴う新型コロナウイルス感染症防止対策実施中は活動を制限する。

## (公3) 生涯学習を支援するための公開講演

学術・芸術・文芸・環境・医療・福祉等に関する公開講座を開催し、地域住民の生涯学習を支援し地域の文化振興に資

するとともに、福祉教育を普及し地域包括高齢者福祉に貢献する。

・ 養講座の開催

第53回・第54回養講座の開催

・ 対面による講座の開催と共にオンライン配信を検討する。

## (公4) 文化芸術及び生涯学習支援等の情報提供

公益法人としての事業活動の一般への開示の目的に加え、伝統文化、芸術、環境、福祉に関する論文を有識者による編集委員会により編集し、文化芸術及び生涯学習支援のための情報提供とともに教育史、女性史の資料として文化振興に貢献する。

鴨沂会誌の刊行及び保存管理

「鴨沂会誌158号の刊行」

「会誌および史料の保存管理」

明治20年以來の150冊を超える鴨沂会誌全巻とともに編集資料（歴史的写真とそのデジタルアーカイブ、生徒の作品、京都府立女学校旧校舎、鴨沂高校校舎の設計図）の保存管理を行う。

## II 会報の刊行その他会員向け事業

ア 鴨沂会報の刊行

法人活動及び会員の近況を会員へ報告する目的で編集し、全会員に配布する。

なお、鴨沂会館史料室に保存して、閲覧可能。

「鴨沂会報第17号の刊行」

## イ 会員総会の開催

- ・ 法人活動の報告のための「京都鴨沂会年会における会員総会」を開催する。
- ・ 第131回京都鴨沂会年会における「会員総会」の開催は自粛する。

## Ⅲ 収益事業

### ホール、会議室及び駐車場の賃貸

- ・ 鴨沂会館のホール及び会議室等はオーケストラ、室内楽、コーラス、舞踏などの常設練習場、講演会、会議、伝統芸能の教室として文化・芸術活動支援をする。また、利用者の便宜と安全のため駐車場を整備し一般の利用に供する。
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止緊急事態宣言発出時には、外出の自粛、催物（イベント等）の開催制限、施設の使用制限等の要請に従ってホールや会議室の利用を制限する。緊急事態宣言解除後は、感染症対策に留意し、賃貸事業を継続する。
- ・ 公益事業である自主開催の講演会や文化教室、収益事業である各種文化団体（合唱団、交響楽団、劇団等）への貸室事業をコロナ禍においても継続出来るように、館内のICT化と、貸室管理や経理業務のICT化、リモートワーク化を実施する。

## Ⅳ 法人業務

### ア 会議

- ・ 定款第4章及び第6章の規定に従って社員総会及び理事会を開催する。
- ・ 令和2年度定時社員総会  
令和3年5月22日 鴨沂会館にて開催
- ・ 内閣府の新型コロナウイルス感染症拡大に伴う公益法人の運営に関する見解に従って、社員総会の開催時期や開催方法に

柔軟に対応することになる。

理事会 10回 開催 対面会議あるいはオンライン

会議を実施する。

各種委員会 随時 開催 主にオンライン会議とする。

## イ 会計

定款第7章の規定に従って基本財産及び運用財産を管理し、年度前に事業計画及び収支予算書等を作成する。事業年度終了後には、事業報告及び収支決算書等を作成し、監事及び公認会計士の監査を受けて所管庁に報告する。

## ウ 事務

法人業務、公益目的事業及び収益事業の事務処理及び鴨沂会館の管理を担当する。

・ 感染症拡大時期には事務員は可能な限りリモートワークとし、役員との連絡は、電話及びメールとする。

## V 鴨沂会館の管理および整備

本館3階の外階段を整備する。

# 令和3年度 公益社団法人 京都鴨沂会 収支予算書

## 収支予算書内訳表

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引	合計
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1)経常利益					
①基本財産運用益	0	0	3,000	0	3,000
基本財産受取利息			3,000		3,000
②特定資産運用益	0	0	40,000		40,000
特定資産受取利息	0		40,000		40,000
③受取会費	1,000,000	0	0		1,000,000
正会員受取会費	1,000,000		0		1,000,000
④事業収益	495,000	11,280,000			11,775,000
講習会収入	450,000	200,000			650,000
貸室事業収入		10,080,000			10,080,000
賃貸料収入		1,000,000			1,000,000
会誌事業収入	45,000				45,000
⑤受取寄付金	500,000	0			500,000
受取寄付金	500,000				500,000
⑥雑収益	0	240,000	1,500		241,500
受取利息	0	0	1,500		1,500
雑収入	0	240,000			240,000
					0
					0
経常収益計	1,995,000	11,520,000	44,500	0	13,559,500
(2)経常費用					
①事業費					
事業経費					0
給料手当	1,312,500	2,152,500			3,465,000
福利厚生費	5,625	9,225			14,850
通信運搬費	65,000	130,000			195,000
消耗什器備品費	6,500	13,000			19,500
消耗品費	91,000	182,000			273,000
修繕費	405,000	1,087,500			1,492,500
製本印刷費	1,000,000	0			1,000,000
光熱水料費	740,000	1,250,000			1,990,000
租税公課	1,170,000	1,040,000			2,210,000
旅費交通費	128,000	128,000			256,000
雑費	36,000	36,000			72,000
減価償却費	2,295,000	2,040,000			4,335,000
損害保険料	45,000	40,000			85,000

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引	合計
広 告 費	0	50,000			50,000
業 務 委 託 費	666,000	1,125,000			1,791,000
文 化 事 業 費	1,300,000	0			1,300,000
教 育 援 助 費	1,700,000				1,700,000
資 料 保 管 費	20,000				20,000
事業費計	10,985,625	9,283,225			20,268,850
②管理費					
給 与 手 当			35,000		35,000
福 利 厚 生 費			150		150
議 会 費	0	0	14,000		14,000
光 熱 水 料 費			10,000		10,000
通 信 運 搬 費			5,000		5,000
旅 費 交 通 費	0	0	64,000		64,000
租 税 公 課	0		390,000		390,000
消 耗 什 器 備 品 費			500		500
消 耗 品 費			7,000		7,000
修 繕 費			7,500		7,500
総 会 費	0		90,000		90,000
減 価 償 却 費			765,000		765,000
事 務 委 託 費	0	0	480,000		480,000
損 害 保 険 料			15,000		15,000
業 務 委 託 費			9,000		9,000
慶 弔 費	0		30,000		30,000
管理費計	0	0	1,922,150		1,922,150
	0				0
					0
経常費用計	10,985,625	9,283,225	1,922,150		22,191,000
評損調整前当期経常増減額	△ 8,990,625	2,236,775	△ 1,877,650		△ 8,631,500
特定資産評価損益等	0				0
評価損益等計	0	0			0
当期経常増減額	△ 8,990,625	2,236,775	△ 1,877,650		△ 8,631,500
2 経常外増減の部					0
(1)経常外利益					0
他会計からの繰入額					
建物維持引当資産積立	0			0	
経常外収益計	0	0		0	0
(2)経常外費用					0
他会計への繰出額		0		0	0
建物維持引当資産積立	0	0			0
	0				0
経常外費用計	0	0		0	0
当期経常外増減額	0				0
税引前一般正味財産増減額	△ 8,990,625	6,556,775	△ 1,877,650		△ 4,311,500
当期一般正味財産増減額	△ 8,990,625	6,556,775	△ 1,877,650		△ 4,311,500
一般正味財産期首残高	0	0			0
一般正味財産期末残高	0	0	0		0
Ⅱ 指定正味財産増減の部					0
当期指定正味財産増減額					0
指定正味財産期首残高					0
指定正味財産期末残高					0
Ⅲ 正味財産期末残高	0	0	0		0